



火災の現況をご存知ですか？

住宅火災による死者数が過去最多を記録（平成17年中）

平成17年中における住宅火災の出火件数は18,769件で、これは1日に約51件、28分に1回発生したということになります。

そして、火災による全死者数は2,197人。このうち、建物火災での死者数（放火自殺者等を除く）が1,368人で、その中の1,223人が住宅火災による死者数です。この結果は、統計史上最多となってしまいました。

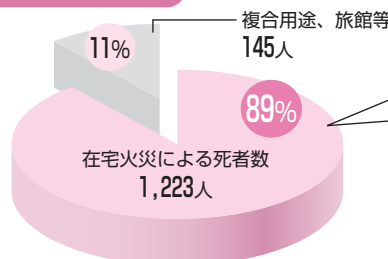
なお、このうち693人は65歳以上の高齢者となっており、死者の56.7%を占めています。

原因は……

住宅火災の原因としては、コンロ火災（天ぷら火災）が最も多く、タバコの火の不始末・放火・ストーブ火災と続きます。

コンロ火災では、コンロの炎が油に届かなければ着火しないと思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、天ぷら油は約380℃位で過熱発火します。揚げ物をする時は、その場を離れないようにしましょう。

建物火災での死者数



死者数の年齢

65歳以上	693人	56.7%
64歳以下	530人	43.3%

（平成18年3月14日 総務省消防庁報道資料）

われら、地域に生きる消防団

常陸大宮市消防団では、支団ごとに優良部審査会（機械器具コンクール）を開催しました。

この審査は、消防詰所の整理・清掃状況、消防ポンプの点検及び清掃状況等総合的に審査するものです。この結果、平成18年度の優良部は次のとおりです。

大宮支団	：	6分団	2部
山方支団	：	3分団	6部
美和支団	：	1分団	1部
緒川支団	：	3分団	1部
御前山支団	：	1分団	5部

更なる今後の活躍を期待します！

文化財防火デー

昭和24年1月26日、日本最古の建築物、奈良県の法隆寺金堂の壁画が火災により焼損してしまいました。

この日を「文化財防火デー」と定め、火災の多発する時期でもあるこの日を中心として文化財を火災、震災その他の災害から守るため全国的に文化財防火運動を展開しています。

文化財は木や紙などの可燃物で造られている物が多く、一度火災になると大きな損害を受ける恐れがあります。

文化財は日本の歴史や文化を伝える、かけがえのない貴重な財産です。地域ぐるみで災害から守りましょう。

車に乗ったら シートベルトを忘れずに

ボランティアグループ・ヤッホーふれあいの会（山方地域）では、毎月シートベルト着用調査を実施しております。

◎10月～12月調査分

場所：山方宿駅前

調査日	運 転 席			助 手 席			合 計		
	台数	着用数	着用率%	台数	着用数	着用率%	台数	着用数	着用率%
10月2日	254	239	94.1%	27	24	88.9%	281	263	93.6%
11月1日	202	188	93.1%	25	19	76.0%	227	207	91.2%
12月1日	181	158	87.3%	18	15	83.3%	199	173	86.9%

善意を ありがとう

次の方からたくさんの善意をお寄せいただきました。ありがとうございました。（順不同・敬称略）

《常陸大宮市へ》
㈱東京電力

防犯灯 30基